

えびはらきのすけ
海老原喜之助

きよくば
《曲馬》 1930年頃 油彩・キャンバス 72.8×100.2cm



突き抜けるような爽やかな青色は「海老原ブルー」と呼ばれており、作家が好んで使った色です。勢いよく走る馬、その上で縄跳びをする少年。サーカスの光景でしょうか。でも、なんとも不思議な光景ですね。曲馬とはサーカスの演目で馬を使った曲芸のこと。この作品を描いた頃、作家は妻と別れ、息子とともにフランスから帰国しています。

海老原は馬の作品を多く描いていますが、それぞれの馬に作家の強い想いが込められていると言います。

- 1904年 鹿児島に生まれる。
- 1922年 上京。川端画学校に通う。
- 1923年 渡仏。パリの藤田嗣治を訪ねる。
- 1924年 サロン・ドートンヌに入選。
- 1927年 結婚。
- 1934年 離婚し、子どもを連れて帰国。
- 1970年 パリで没。享年 66。